

3. 遺 物



II・III層出土の青磁・珠洲焼・北宋銭



ヒスイ製の玉類



出土した縄文土器



石鏃



板状石器



磨石類



石皿

出土した石器

4. ま と め

ササラ西遺跡のある土地では、縄文時代、室町時代、それ以降と幾度にも渡る人々の活動の痕跡が確認できました。今後は、それぞれの地層の関係を、堆積状況や出土遺物から検討していきます。

長岡市 ササラ西遺跡現地説明会資料

資料No.

令和3年 7月22日（木・祝）

国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所

公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

株式会社大石組

旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	戦国時代	安土桃山時代	江戸時代	明治時代
-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	--------	------	------

1. 調査の概要

ササラ西遺跡は、長岡市川口中山に所在し、魚野川右岸の河岸段丘に立地します。標高は約 80mです。遺跡の西側では魚野川が比高 20m下を北流し、信濃川と合流しています。

遺跡の周辺では縄文時代の遺跡が多く確認されています。魚野川を挟んで対岸には、国史跡の荒屋遺跡があり、後期旧石器時代から縄文時代にかけて人々が活動した痕跡が確認されています。

今回の調査は、国道 17 号川口地区ほか道路施設整備事業に伴うもので、今年 4 月から発掘調査を実施しています。

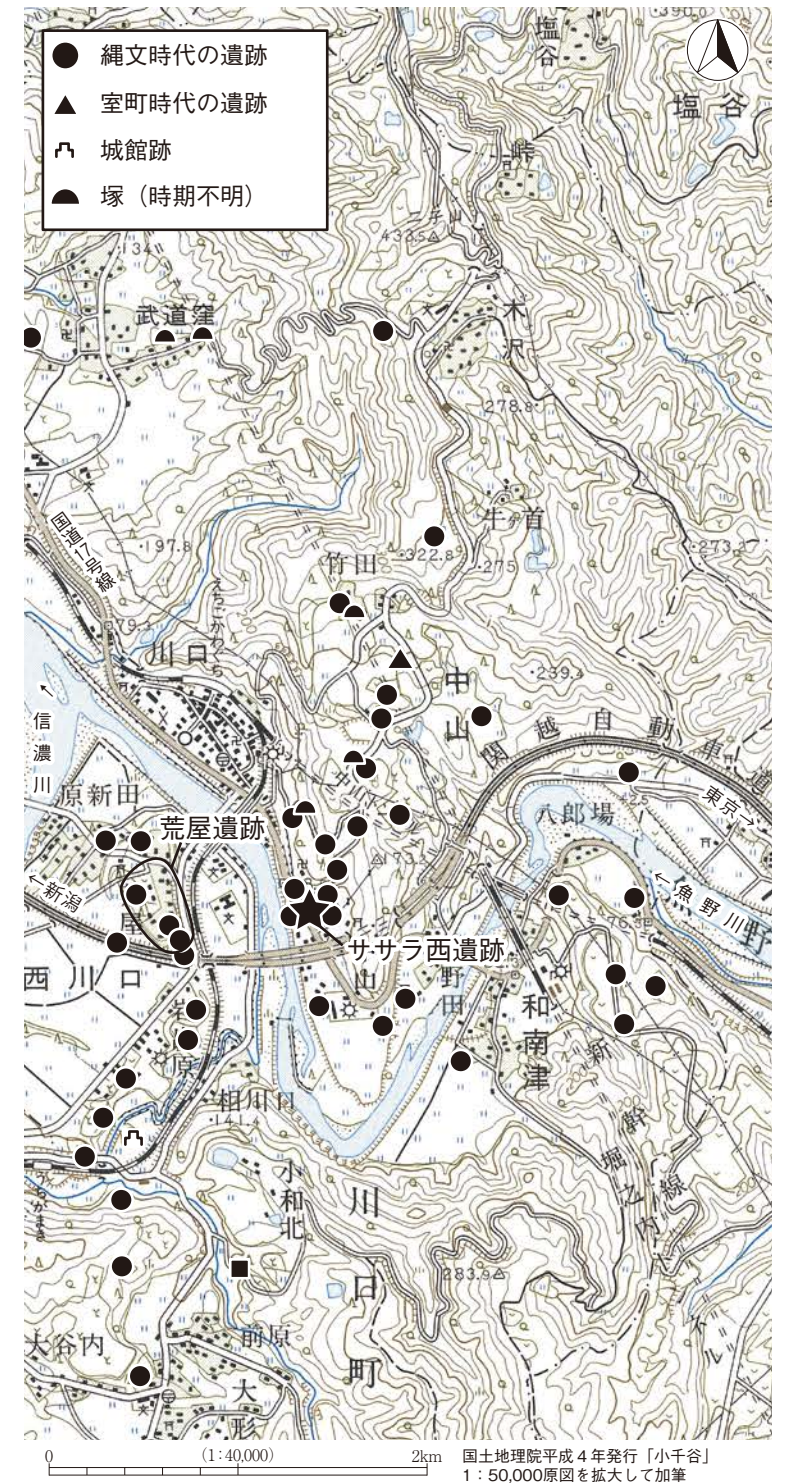
遺跡の時期は室町時代（約 600 年前）と縄文時代晩期（約 3,000 年前）が中心です。

調査面積は約 1,900 m²で、現在の田面から約 1.7m下では、室町時代から江戸時代にかけての水田跡が見つかりました。

縄文時代晩期では、土坑や土器集中地点、流路跡が見つかっており、現在は流路の発掘を進めています。流路からは多量の土器・石器が出土しています。

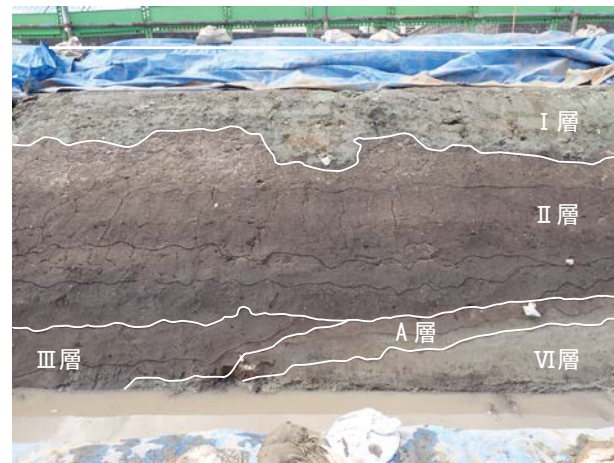


室町時代の水田調査



ササラ西遺跡と周辺の遺跡

2. 遺 構



①調査区北壁 土層の堆積状況（南東から）

- I層：現代の水田及び基盤造成土
- II層：江戸時代以降の水田耕作土
- III層：室町時代の水田耕作土
- A層：縄文時代晩期の遺物包含層^{いぶつほうがんそう}
- VI層：地山



⑤流路（SD9）全景（南東から）

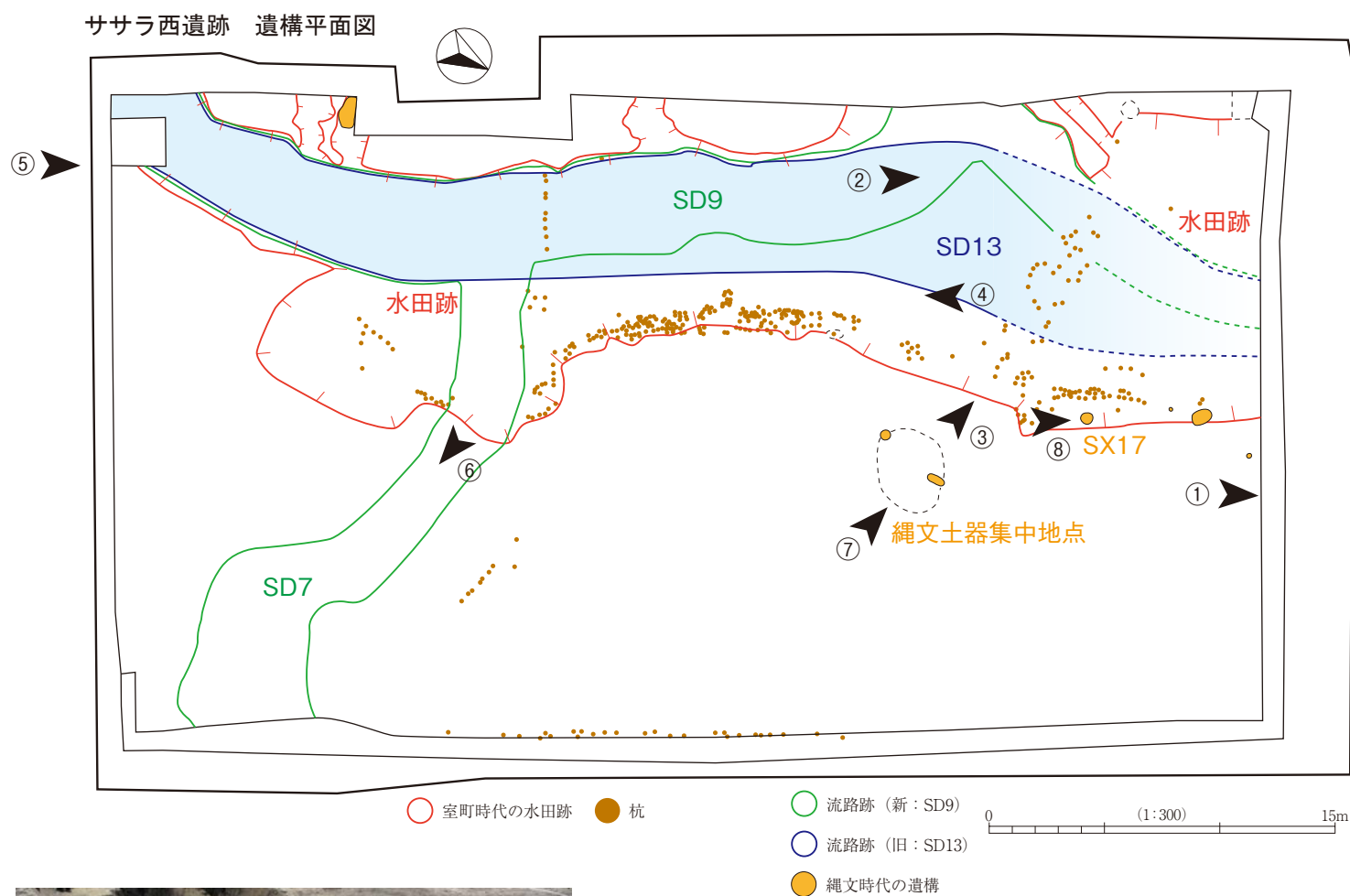


⑥流路（SD7）全景（西から）

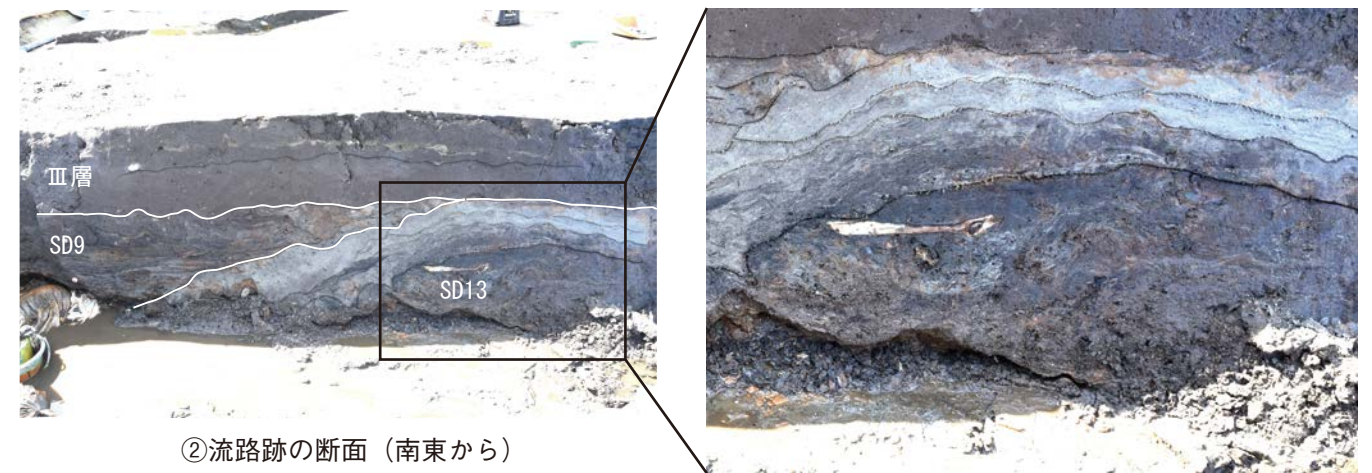
調査区の地形は、南東から北西に向けて傾斜しています。調査区の西側では流路（SD9・SD13）と水田が重なって検出され、水田脇には杭が多数打ち込まれています。

水田は調査区東側にも広がっていたと考えられますが、近世以降の水田で壊されています。

縄文時代の遺物包含層は調査区北東に残っており、少数ですが遺構も確認できます。



⑦縄文土器集中地点（東から）



②流路跡の断面（南東から）

流路（SD13）では、縄文時代晩期を中心とする遺物（土器・石器）や流木・堅果（トチ・クルミ）が出土しています。

地層は大きく曲がりくねっており、水流の影響を強く受けていることが分かります。



③杭や石で補強した畔（東から）



⑧縄文土器集中地点（SX17）（南東から）



④畔脇の杭と石の出土状況（北西から）